

脳卒中発症登録事業状況

県内の医療機関から提供された脳卒中患者（死亡を含む。）の発症登録の状況は次のとおりである。
なお、対象とした期間は、平成14年4月1日から平成15年3月31日までの発症として登録したものである。

1 医療機関別報告状況

協力医療機関の所在地により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	12	607	39
県西健康福祉センター	8	809	34
県東健康福祉センター	7	498	23
県南健康福祉センター	12	1,121	90
県北健康福祉センター	7	1,678	74
安足健康福祉センター	7	1,200	97
合計	53	5,913	357
うち病院	39	5,215	342
うち診療所	14	698	15

2 患者住所地別報告状況

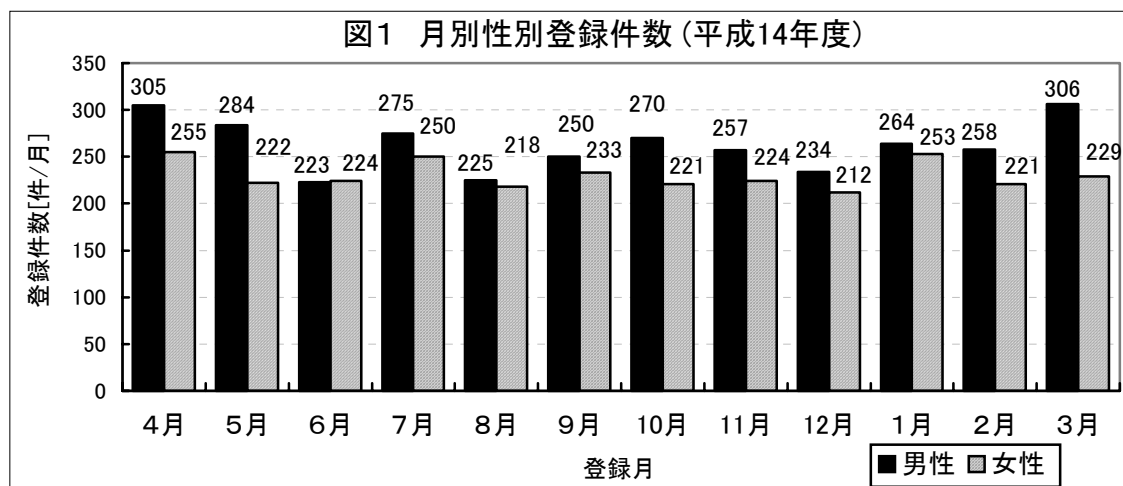
登録された患者の住所により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	31	907	47
県西健康福祉センター	20	825	34
県東健康福祉センター	23	721	29
県南健康福祉センター	31	1,021	84
県北健康福祉センター	22	1,298	69
安足健康福祉センター	15	1,141	94
合計		5,913	357

3 月別・性別登録状況

月別（登録医療機関での診断日基準）・性別の報告件数は図1のとおりであり、年間で5,913件、月あたり平均492.8件の報告があった。

性別の登録件数は、男性3,151件、女性2,762件であった。

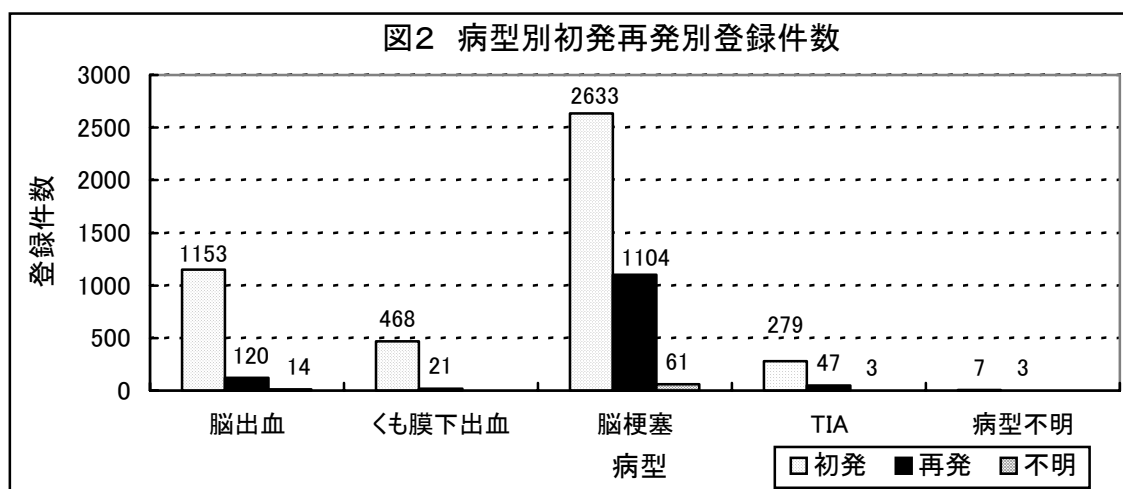


4 病型別・初再発別登録状況

病型別の登録状況では、脳梗塞の診断が最も多く3,798件（64.2%）、次いで脳出血1,287件（21.8%）、くも膜下出血489件（8.3%）であった。（図2）

初発再発別の登録状況では、初発の診断が4,540件（76.8%）、再発が1,295件（21.9%）、不明が78件（1.3%）であった。

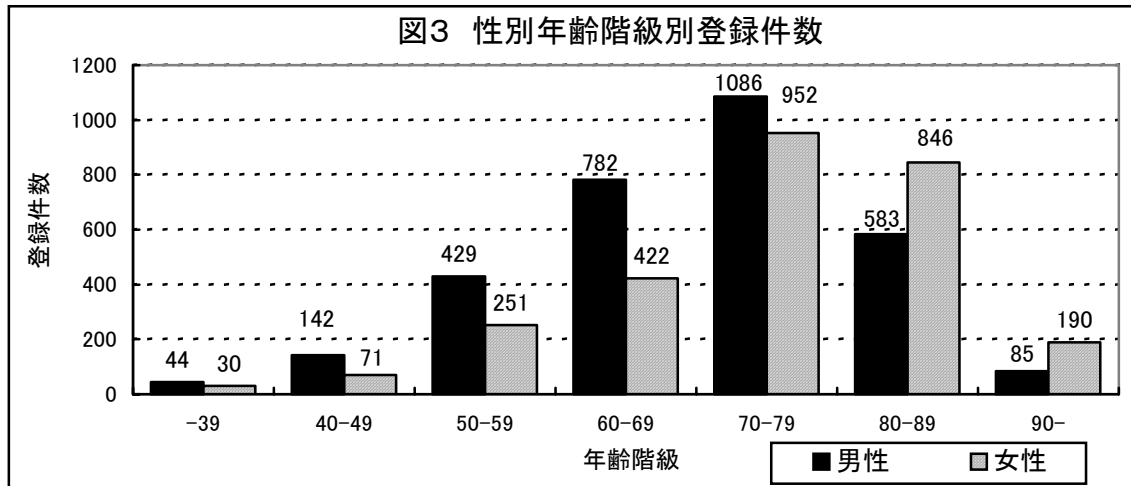
病型別の、全登録に占める再発登録の割合は、脳梗塞で29.1%（1,104/3,798件）、脳出血で9.3%（120/1,287件）、くも膜下出血で4.3%（21/489件）であった。



5 性別・年齢階級別登録状況

(1) 性別・年齢階級別登録状況

年齢階級別では、男女とも70歳代の登録件数が最多である。男性は女性と比較して、比較的若年者が占める割合が高い傾向が認められた。(図3)



(2) 病型別・初再発別・性別・年齢階級別登録状況

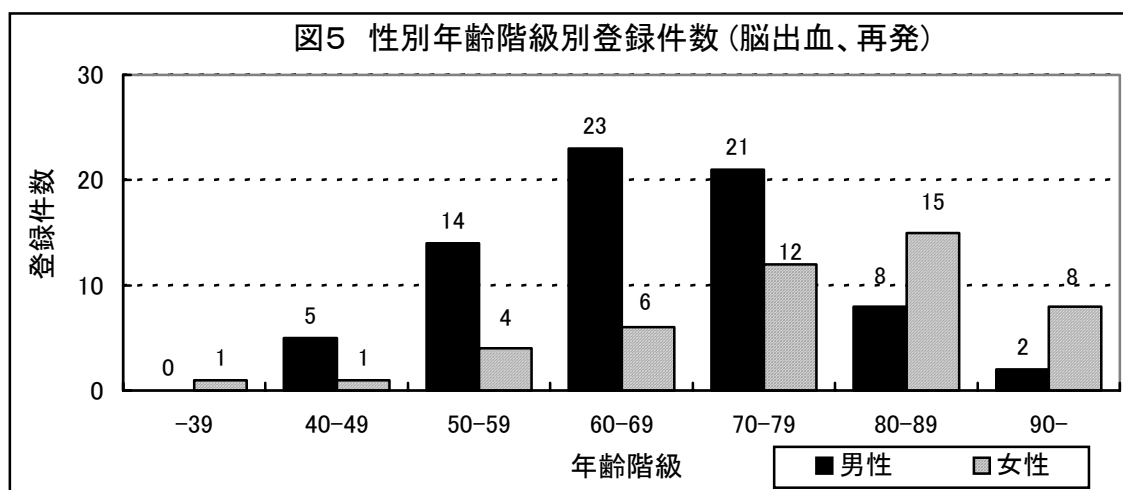
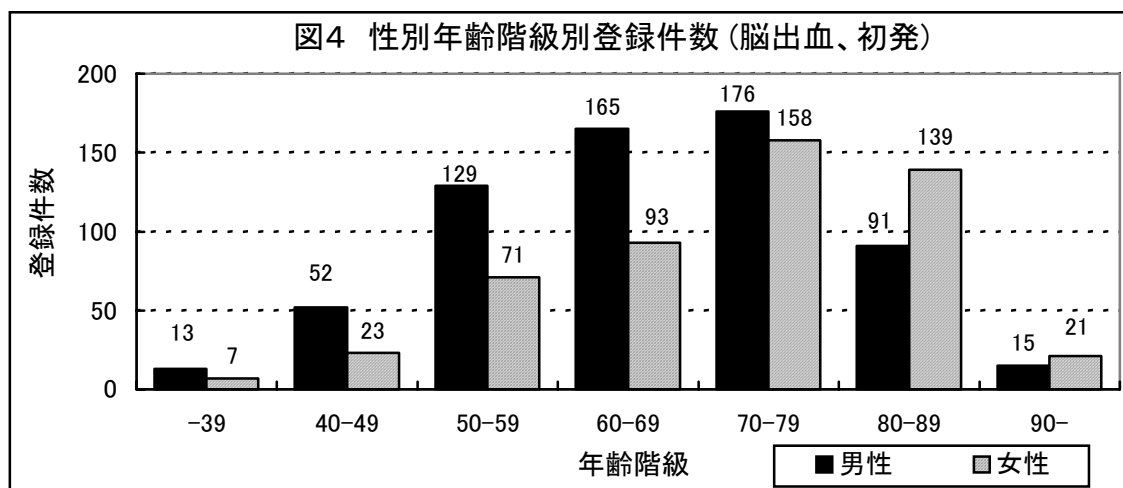
①脳出血

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性、女性ともに70歳代が最多であった。

(図4)

再発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は60歳代、女性は80歳代が最多であった。

(図5)

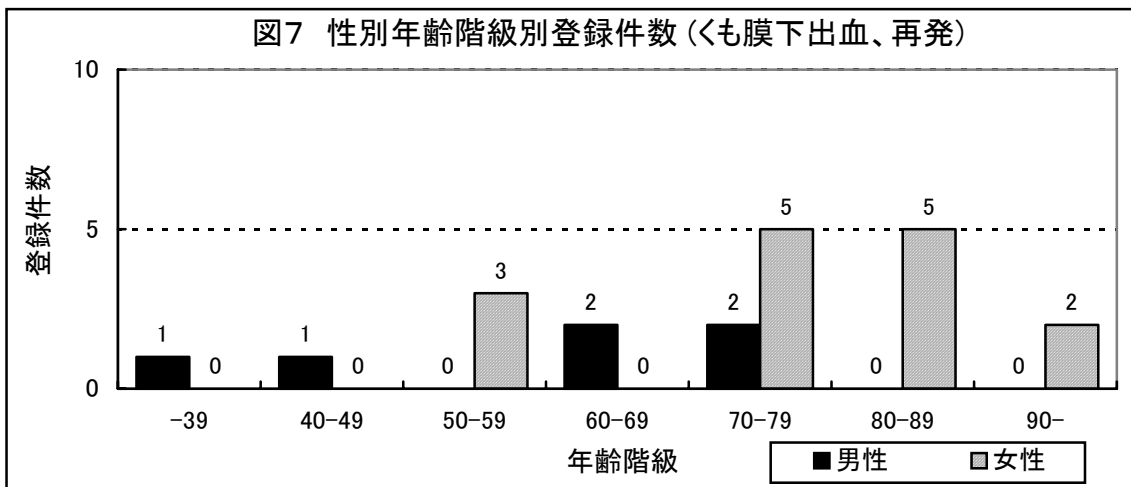
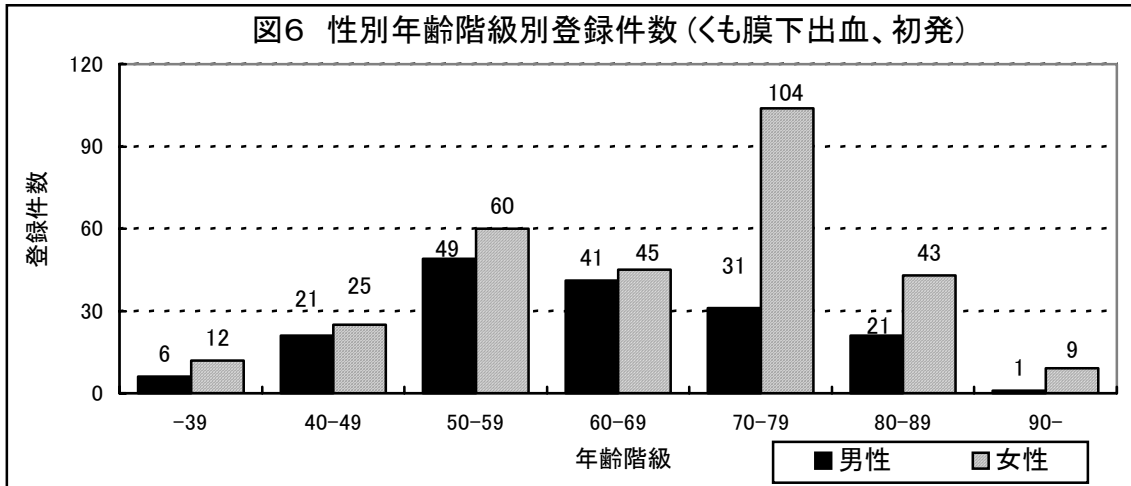


②くも膜下出血

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は50歳代、女性は70歳代が最多であった。

(図6)

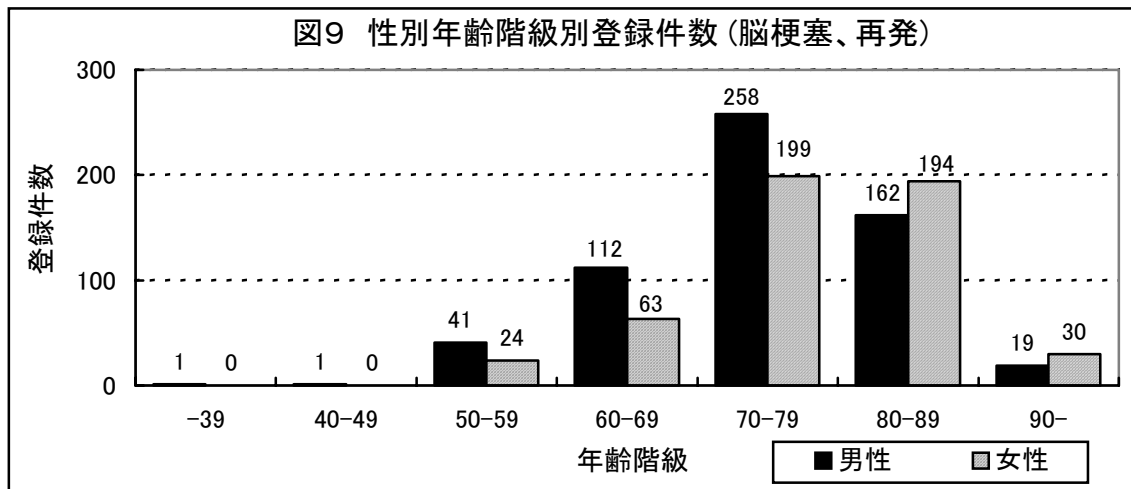
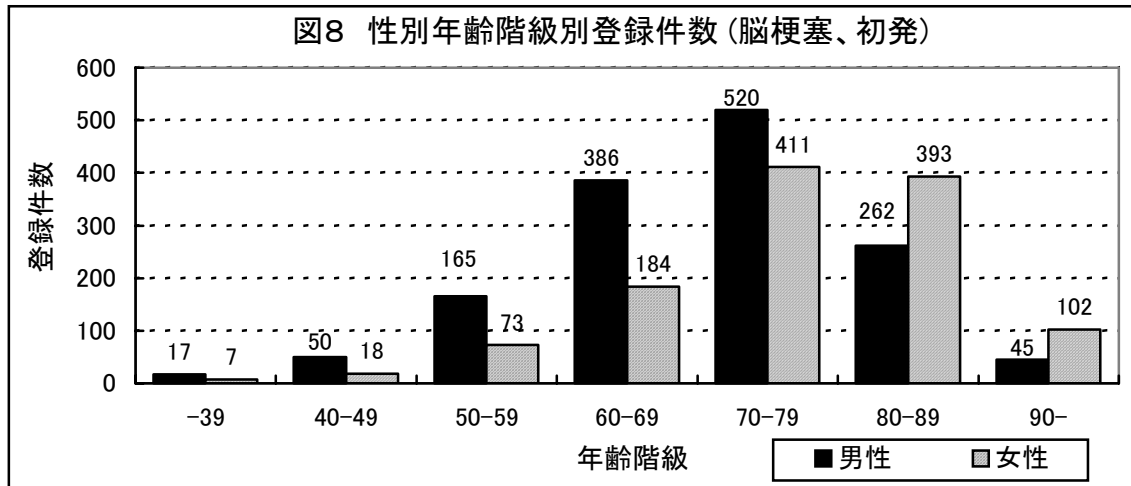
再発の性別・年齢階級別登録件数は、図7のとおりであった。



③脳梗塞

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性、女性ともに70歳代が最多であった。(図8)

再発の性別・年齢階級別登録件数では、男性、女性ともに70歳代が最多であった。(図9)

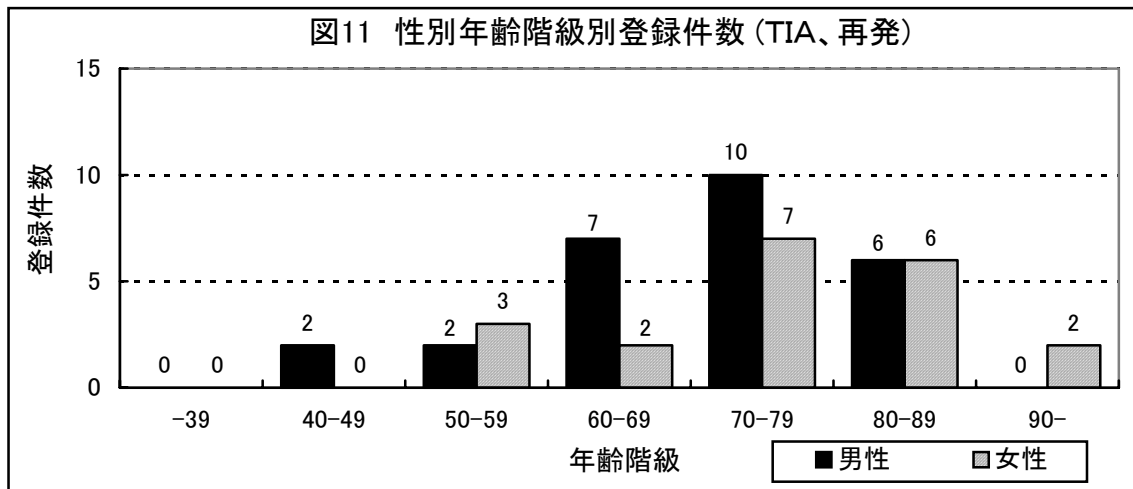
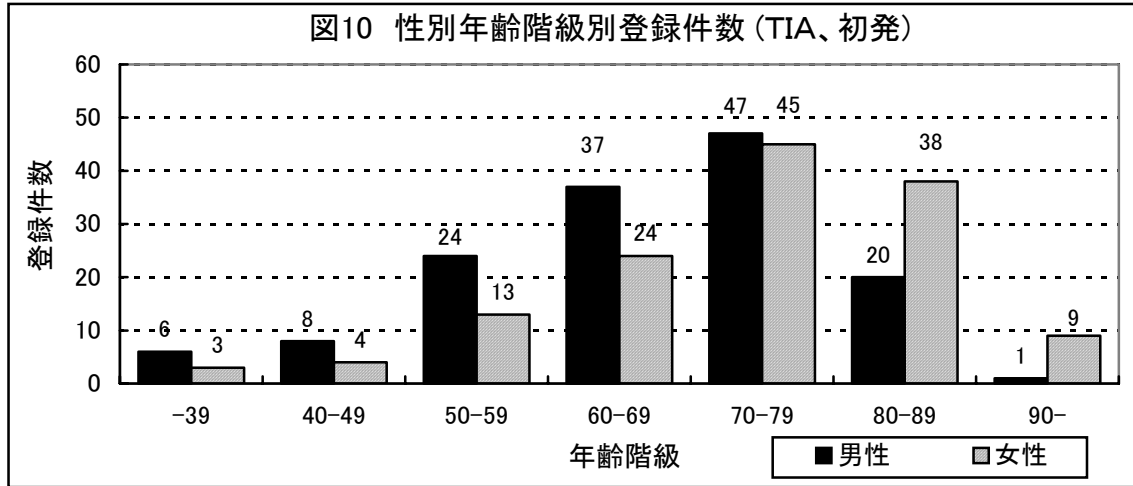


④ T I A

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性、女性ともに70歳代が最多であった。

(図10)

再発の性別・年齢階級別登録件数は、図11のとおりであった。



6 受診後の患者措置の状況

医療機関で診断を受けた後の患者措置の状況は、入院する割合が男性84.6%(2,666/3,151件)、女性83.4%(2,303/2,762件)、計84.0%と高い。

他、全病型では全登録に占める割合は、死亡が6.0%(357/5,913件)、在宅が9.1%(536/5,913件)であるが、病型別にみると、くも膜下出血では16.6%(81/489件)と死亡の占める割合が高く、脳梗塞では11.2%(427/3,798件)と在宅の占める割合が高い傾向が認められた。

